

専門的助言「相談気軽に」

「健康エキスパート薬剤師」県が登録証

県が新たに創設した「健康エキスパート薬剤師」に認定された薬剤師に18日、登録証が交付された。県民に身近な存在である薬剤師の専門知識を生かし、健康づくりをサポートする。山口市滝町の旧県会議事堂で交付式があり、登録者の代表13人が出席。弘田隆



県健康エキスパート薬剤師に登録された薬剤師ら＝18日、山口市滝町

彦健康福祉部長が一人一人に登録証を手渡し、「専門性を生かし、健康相談や安心・安全な薬の使用方法の助言など、健康づくりを積極的にサポートしてほしい」と述べた。

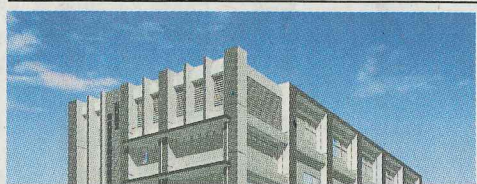
専門的な研修を受け、在宅医療や健康サポートに精通した薬剤師を登録する制度で、県が全国で初めて創設した。健康エキスパート薬剤師は、薬局内だけでなく地域の公共施設などに出掛けて健康相談を開くなど、薬の正しい使い方といった知識の普及や病気の早期発見、早期受診につながる。

はら薬局寿町店(宇部市)の原洋司さん(43)は「県民の皆さんの健康をしっかりと

名称は「山口松風館」

山口の県立多部制定時制高校

山口市のJR新山口駅北地区で来年4月に開校する県立の多部制定時制高校について、県教育委員会は名称を「山口松風館」と決めた。22日開会の2月定例会議に、新高校の設置に伴う条例改正案を提出する。県教委高校教育課によると、昨年10月に公募で寄せられた102件から、学識者らでつくる検討委員会が絞り込んだ。「松風館」には、県木のアカマツが大地に根を張り成長し、新たな風を吹き込むイメージを込めたという。県立学校に「館」が入るのは初めて。コンセプトは「多様な学びのニーズに応える柔軟な



教育システムを「タイプAの高校」午後、夜間部を

県21年度新規事業

②

新型コロナウイルス禍を契機とした社会変革に対応するため、県はデジタル化を加速させる取り組みを本格化させる。幅広い分野で変革につなげる「デジタルトランスフォーメーション(DX)」を推進し、県民の利便性向上や安心、安全につなげる。

市のニューメディアプラザ山口に開設。市町などから

デジタル化推進1

【子育てAIコンシェルジュ導入事業】(4559万円)人工知能(AI)を活用し、無料通信アプリのラインで妊娠、出産、子育てに関する相談に24時間365日対応するシステムを作る。AIチャットボット

高度なイン

【高度なイン点検関連事業】(9千万円)最も用し、社会資本の高度化、る。ドローンなる地形データを維持管理を造物の3次元エ

山口にDXの拠点開設

【やまぐちDX推進事業】(5億4600万円)10月をめどに、「やまぐちDX推進拠点(仮称)」を山口

の相談や技術支援、人材育成に当たる。新たに県版クラウドを構築し、官民のオープンデータも蓄積させ、アプリ開発の基盤となる空間を整える。

【中小企業D支援助事業】(2万円)中小企業

宇部市 独自色薄まる

(一面に關係記事)

【解説】宇部市の2021年度当初予算案は過去最大規模の700億円を超える編成となったものの、大型投資事業など形式的な支出が大きく、「積極型予算」とは言えないだろう。篠崎市長が選挙公約に掲げた五

特に気になったのは主だった環境政策が見られなかったこと。温暖化やプラスチックごみなどの環境問題は地球規模の課題であり、

【強い産業の創出・育成】(5014万円)現状分析を踏まえて将来ビジョンや戦略的施策を盛り込んだ産

画後期実行計画であり、市長に定された目標値実現の両立を迫り、4年間の



【主な新規事業】宇部市が2021年度当初予算案に盛り込んだ新規事業19件(前年度比58件減)のうち、主な事業は次の通り。

【医療的ケア体制整備事業】(5014万円)現状分析を踏まえて将来ビジョンや戦略的施策を盛り込んだ産

【山口宇部空公園大型遊具設置】(200万円)20

部市、副市長交代へ

民環境部長の藤崎氏起用方針

宇部市の篠崎圭二市長が、副市長に市市民環境部長の藤崎昌治氏(59)を起用する方針を固めたことが18日、関係者への取材で分かった。26日開会予定の市議会定例会に人事案を提出する。

藤崎氏は同市出身。九州大卒。1985年に採用され、総務管理部長や総合政策部長などを歴任し、2018年4月から現職。昨年11月に初当選した篠崎市長にとって初の副市長起用となる。

現在副市長を務める和田誠一郎氏(69)は昨年1月、久保田后子前市長に起用された。議会で藤崎氏の人事案に同意が得られれば、任期中中で交代する見通し。

(中村亮太)



氏